

中部版

大阪支社

大阪市西区西本町
1-14-3 TEL 550-0005
TEL 08(8)538-2601
FAX 08(8)538-7603

美建(愛知)

MRデバイスを活用

外国人技能実習生も積極採用

愛知県のHグレードファブ、美建(豊橋市大清水、植松要治社長)は2年前、高知県のRグレードファブ、宮村鉄工(香美市、宮村博益社長)とNTTドコモの共同開発による建築鉄骨向けMR(複合現実)デバイスを導入し、自社仕様にマッチするよう試験作業を繰り返しながら活用している。



用している。もともとホルズ端末での使用は現場作業者の加工や検査向けが主体と認識しており、現状

の作業環境は想定内と考えられている。最終的には管理分

「PadやiPhoneなど

として知られ、i

▲ホルズ端末を使用
して検査するようす

野まで網羅する形で活用したいと構想しており、そこに到達するまで段階を踏んで取り組んでいきたい」と話す。

携帯型端末で使用可能。このシステムではCADソフトで入力した図面データをMR画像用に自動変換し、3Dの画像を投影。携帯型端末による画像確認や操作が可能で、より分かりやすく簡単に使えるようになり、汎用性が拡大した。

また、同社は数年前から、ベトナム人の外国人技能実習生と県内の豊橋技術科学大学のベトナム人卒業生を積極的に採用し、従業員との連携を強めながら人材の確保と育成に注力。現在は外国人技能実習生を16人、また、設計エンジニアとして豊橋技術科学大卒業生5人を採用している。

工場認定取得を目指す 将来的に工場移転も検討へ 伍十鉄工所(静岡)

静岡県の伍十鉄工所(工場II富士宮市北山5285、後藤允啓社長)は現在、従業員資格者育成に注力しており、2〜3年後をめどに工場認定



後藤社長

に金物、製缶工事なども一部手掛けている。

会社設立について後藤社長は「19歳で橋梁の薦職を始め、以来約20年間にさまざまな経験をさせてもらっ

た」と話す。

取得を目指す。後藤社長は県内の同業他社から独立して昨年に会社を設立。鉄骨工事をメイン

た」と話す。開業してから最初に取り組んだのが企業理念の策定

で「やる気・勇気・元気をモットーに、社内から活気あふれる会社を目指し、常に上の段階を見据えて挑戦できる企業」が目標

工場として建屋(約600平方メートル)を賃借し、操業を開始。従業員は3人と社内外注工3人の6人体制。工場には切断機、シャーリ

ン3基。CADはドッドウエル、ビー・エム・エス

の「REAL4」を1台導入している。

今後の課題は「若手の育成と働き方改革の実行」(後藤社長)と強調。①ミスを恐れずに挑戦できる企業風土の醸成②コ

ミュニケーション能力の向上③成功をともに喜び合いながら仲間作りをしていける環境の整備——などの方針を掲げる。

「今の加工量を毎月何とかクリアすることを積み重

ねている状態。来年度には法人化も計画している。現在は建屋を借りているが、いずれは時期を見極め、新工場建設を含め工場移転を考えていきたい」(同)としている。



工場外観



渡辺工場長

現在の活用法について渡辺昌稔工場長は「試行錯誤の連続ではあるが、野書き用の梁ロボと併用しながら、主に検査精度を向上させるために不具合防止処理で使

取得を目指す。後藤社長は県内の同業他社から独立して昨年に会社を設立。鉄骨工事をメイン

た」と話す。開業してから最初に取り組んだのが企業理念の策定

で「やる気・勇気・元気をモットーに、社内から活気あふれる会社を目指し、常に上の段階を見据えて挑戦できる企業」が目標

工場として建屋(約600平方メートル)を賃借し、操業を開始。従業員は3人と社内外注工3人の6人体制。工場には切断機、シャーリ